

緑化通信

2016 増刊号 (年7回25日発行) 第442号



発行所

一般社団法人 日本植木協会

〒107-0052 東京都港区赤坂6-4-22 三沖ビル3階
TEL.(03)3586-7361 FAX.(03)3586-7577
URL: http://www.ueki.or.jp/
E-mail: honbu@ueki.or.jp



購読希望の方は上記宛へお申込み下さい。年間購読料 5,000円

花きの振興に関する法律12月1日施行 農林水産省 平成26年度第2回花き振興セミナーを開催

平成26年12月18日(木)、第2回花き振興セミナーが、農林水産省7階大講堂にて15時~18時に開催された。

冒頭、農林水産大臣・西川公也氏による挨拶があり、「花きの振興に関する法律(花き振興法)が2016年12月1日に施行され、平成27年は本格的に各団体及び国民に浸透させる事が報告された。

花きの課題、そして今後の花き業界のあるべき姿についてを交えながら、施行法を、資料、画像、及び事例を交えて丁寧に報告した。

○「花きの振興に関する法律」の要点とポイント
第一条 目的
花き産業の健全な発展と心豊かな国民生活の実現
第二条 定義
「花き」とは観賞の用に供される植物をいう(具体的には植木協会の生産植物は、盆栽、芝、庭園木、花木、公園街路樹用樹木、地被、室内・壁面・屋上緑化用植物等が含まれる)

第三条 基本方針
農林水産大臣は花き産業及び花きの文化の振興に関する基本方針(以下単に「基本方針」という)を定めるものとする
第四条 振興計画
都道府県は、花き産業及び花き文化の振興に関する計画を策定
第五条 国、地方公共団体、事業者、研究機関等の連携の強化をはかる
第六条 生産者の経営の安定
燃油価格や資材費の高騰、災害の発生等により、経営の圧迫される事が見受けられる中、国や地方公共団体による生産者の経営の安定のための支援が規定されている
第七条 生産性及び品質の向上の促進
国産シニアの奪還と輸出拡大に向け、国や地方公共団体による生産性と品質の向上の促進のための支援が規定された
第八条 加工及び流通の高度化
産地から市場、小売店に至るまでのコールドチェーンの整備や流通経路の合理化が必要な事から、国や地方公共団体による加工及び流通の高度化に向けた支援が規定された
第九条 鮮度の保持の重要性への留意
国産花きの強みである日持ち性の向上のために、産地から小売店に至るまでの流通段階における鮮度保持が特に重要である
第十条 輸出の促進
国や地方公共団体による輸出促進に向けた支援が規定された(平成32年度150億円目標)
第十一条 研究開発事業計画の認定
第十三条の種苗法の特例を受けるには、研究開発事業計画を作成し、農林水産大臣の認定を受ける必要がある
第十二条 研究開発事業計画の変更等
認定研究開発事業者は当該認定に係る研究開発事業計画を変更しようとするときは、農林水産大臣に變更の認定を受けなければならない
第十三条 種苗法の特例
国産シニアの奪還と輸出拡大に向け、品種開発を加速させる必要がある国際競争力強化及び品種開発、増殖技術の高度化に取り組み者に対し、品種登録の出願料及び登録料を減免することが規定された
第十四条 報告の徴収
農林水産大臣は、認定研究開発機関事業者に対し実施状況について報告を求め、報告が出来る
第十五条 研究開発等の推進
国や地方公共団体による研究開発の推進のための支援が規定された
第十六条 花きの文化の振興
公共施設における花きの活用の推進及び次世代教育である「花育」の実施、新たな花文化の創出等、花き文化の振興に向けた支援が規定された
第十七条 博覧会の開催等
国や地方公共団体による博覧会開催等に対する支援が規定された
第十八条 顕彰
国及び地方公共団体は花き産業及び花き文化の振興に寄与した者の顕彰に努める
第十九条 国の援助
振興計画の円滑な実施に向け、国による必要な情報提供、助言、財政上の援助が規定された
第二十条 花き活用推進会議
政府が、関係行政機関(文部科学省、農林水産省、経済産業省、国土交通省、環境省)と連携して花きの活用を推進していくための、花き活用推進会議(農水省が事務局)が規定された
第二十一条 罰則
第十四条の規定により報告が

【平成27年度予算概算要求の概要】

国産花きの生産・供給対策 [733(500)百万円]

1. 国産花きイノベーション推進事業 538(500)百万円

国産花きのシェア奪還と輸出拡大を図るため、日持ち性の向上、コールドチェーンの確立、花束等の加工技術の向上等の生産・供給体制の強化、新需要の創出に向けた取組等を支援。
補助率:定額、1/2
事業実施主体:花き業界関係者が組織する協議会等

2. オリンピック・パラリンピックフラワー安定供給事業 [新規] 65(一)百万円

真夏に開催される平成32年のオリンピック・パラリンピック東京大会において、ピクトリーブーケや会場内外で装飾される国産花きを安定的に生産・供給する体制整備に向けた取組を支援。
補助率:定額
事業実施主体:民間団体等

3. トルコ・アンタルヤ国際園芸博覧会政府出展事業 [新規] 130(一)百万円

トルコ・アンタルヤ国際園芸博覧会開催の前年度である平成27年度から出展事業計画の検討・作成、出展ブースの設計・施工、出展植物の調査・調達等。
委託費
委託先:民間団体等

*セミナー当日配布資料より抜粋 ()内は前年予算額



花いっぱいの中で農林水産大臣・西川公也氏が冒頭の挨拶

各都道府県では、すでに協議会が設置され活動が開始されている報告があり、大田花き・社長磯村信夫氏の講演があり、福祉園芸や花育としてのお台場での花壇植栽、秋から冬季に需要が低下するための需要拡大策、フラワーコンテスト実施状況、オリンピックに向けた夏場の花きの生産体制で臨む報告であった。
その後、モデル県として岐阜県農政部長豊田謙野、木森里香氏より、全国に先駆けて国の施策に準じた「岐阜県花き振興に関する条例」が制定された旨報告された。



宍倉副会長による報告

最後に、各業界団体責任者からの感想と決意報告があり、日本植木協会からは宍倉副会長が植木生産は林業ではなく農業である事、小さな苗木から高さ15~17m位の大木まで生産している特殊な業態である事、そして現在の植木の輸出は50億位の額である事、また病害虫で移動が厳しい樹木がある状況などを報告した。定刻になり閉会したのち、18時より地下食堂で懇親会が催された。

「花きの振興に関する法律」施行基本方針の策定、及び平成27年度花き関係予算概算要求について
生産局花き産業・施設園芸振興室・室長川合豊彦氏が、国産花きの強みと国産

業をいう
第二項「花き産業」とは、花きの生産、流通、販売または新品種の育種の事業をいう
第七条 生産性及び品質の向上の促進
国産シニアの奪還と輸出拡大に向け、国や地方公共団体による生産性と品質の向上の促進のための支援が規定された
第八条 加工及び流通の高度化
産地から市場、小売店に至るまでのコールドチェーンの整備や流通経路の合理化が必要な事から、国や地方公共団体による加工及び流通の高度化に向けた支援が規定された
第九条 鮮度の保持の重要性への留意
国産花きの強みである日持ち性の向上のために、産地から小売店に至るまでの流通段階における鮮度保持が特に重要である
第十条 輸出の促進
国や地方公共団体による輸出促進に向けた支援が規定された(平成32年度150億円目標)
第十一条 研究開発事業計画の認定
第十三条の種苗法の特例を受けるには、研究開発事業計画を作成し、農林水産大臣の認定を受ける必要がある
第十二条 研究開発事業計画の変更等
認定研究開発事業者は当該認定に係る研究開発事業計画を変更しようとするときは、農林水産大臣に變更の認定を受けなければならない
第十三条 種苗法の特例
国産シニアの奪還と輸出拡大に向け、品種開発を加速させる必要がある国際競争力強化及び品種開発、増殖技術の高度化に取り組み者に対し、品種登録の出願料及び登録料を減免することが規定された
第十四条 報告の徴収
農林水産大臣は、認定研究開発機関事業者に対し実施状況について報告を求め、報告が出来る
第十五条 研究開発等の推進
国や地方公共団体による研究開発の推進のための支援が規定された
第十六条 花きの文化の振興
公共施設における花きの活用の推進及び次世代教育である「花育」の実施、新たな花文化の創出等、花き文化の振興に向けた支援が規定された
第十七条 博覧会の開催等
国や地方公共団体による博覧会開催等に対する支援が規定された
第十八条 顕彰
国及び地方公共団体は花き産業及び花き文化の振興に寄与した者の顕彰に努める
第十九条 国の援助
振興計画の円滑な実施に向け、国による必要な情報提供、助言、財政上の援助が規定された
第二十条 花き活用推進会議
政府が、関係行政機関(文部科学省、農林水産省、経済産業省、国土交通省、環境省)と連携して花きの活用を推進していくための、花き活用推進会議(農水省が事務局)が規定された
第二十一条 罰則
第十四条の規定により報告が

向上の促進
国産シニアの奪還と輸出拡大に向け、国や地方公共団体による生産性と品質の向上の促進のための支援が規定された
第八条 加工及び流通の高度化
産地から市場、小売店に至るまでのコールドチェーンの整備や流通経路の合理化が必要な事から、国や地方公共団体による加工及び流通の高度化に向けた支援が規定された
第九条 鮮度の保持の重要性への留意
国産花きの強みである日持ち性の向上のために、産地から小売店に至るまでの流通段階における鮮度保持が特に重要である
第十条 輸出の促進
国や地方公共団体による輸出促進に向けた支援が規定された(平成32年度150億円目標)
第十一条 研究開発事業計画の認定
第十三条の種苗法の特例を受けるには、研究開発事業計画を作成し、農林水産大臣の認定を受ける必要がある
第十二条 研究開発事業計画の変更等
認定研究開発事業者は当該認定に係る研究開発事業計画を変更しようとするときは、農林水産大臣に變更の認定を受けなければならない
第十三条 種苗法の特例
国産シニアの奪還と輸出拡大に向け、品種開発を加速させる必要がある国際競争力強化及び品種開発、増殖技術の高度化に取り組み者に対し、品種登録の出願料及び登録料を減免することが規定された
第十四条 報告の徴収
農林水産大臣は、認定研究開発機関事業者に対し実施状況について報告を求め、報告が出来る
第十五条 研究開発等の推進
国や地方公共団体による研究開発の推進のための支援が規定された
第十六条 花きの文化の振興
公共施設における花きの活用の推進及び次世代教育である「花育」の実施、新たな花文化の創出等、花き文化の振興に向けた支援が規定された
第十七条 博覧会の開催等
国や地方公共団体による博覧会開催等に対する支援が規定された
第十八条 顕彰
国及び地方公共団体は花き産業及び花き文化の振興に寄与した者の顕彰に努める
第十九条 国の援助
振興計画の円滑な実施に向け、国による必要な情報提供、助言、財政上の援助が規定された
第二十条 花き活用推進会議
政府が、関係行政機関(文部科学省、農林水産省、経済産業省、国土交通省、環境省)と連携して花きの活用を推進していくための、花き活用推進会議(農水省が事務局)が規定された
第二十一条 罰則
第十四条の規定により報告が

告をせず、虚偽の報告をしたものは30万円以下の罰金に処す
法人の代表者及び代理人また使用者その他従業員が前項に違反行為をした時は行為者を罰するほか、同様に刑を科する
◇
休職後、農林水産事務次官・皆川芳嗣氏の記念講演、続いて華道池坊次期家元・池坊由紀氏の生け花即興実演および、生け花文化の発展と心で生ける日本文化の発信者としての有意義な講演があった。
次に「今後の花き業界の発展に向けて」と題し、(株)大田花き・社長磯村信夫氏の講演があり、福祉園芸や花育としてのお台場での花壇植栽、秋から冬季に需要が低下するための需要拡大策、フラワーコンテスト実施状況、オリンピックに向けた夏場の花きの生産体制で臨む報告であった。
その後、モデル県として岐阜県農政部長豊田謙野、木森里香氏より、全国に先駆けて国の施策に準じた「岐阜県花き振興に関する条例」が制定された旨報告された。

の取り組み、などの報告があった。
福島県の生産農家であるあぶくまカットフラワーグループ代表の三浦斉氏からは、福島原発事故を原因とする避難後3年目にトルコキキョウの生産を可能にし販売した復活の苦労談が報告され、関連する農水省の協力体制にはとても感動を受けた。
最後に、各業界団体責任者からの感想と決意報告があり、日本植木協会からは宍倉副会長が植木生産は林業ではなく農業である事、小さな苗木から高さ15~17m位の大木まで生産している特殊な業態である事、そして現在の植木の輸出は50億位の額である事、また病害虫で移動が厳しい樹木がある状況などを報告した。定刻になり閉会したのち、18時より地下食堂で懇親会が催された。

新樹種部会

コウオトメツバキ

Camellia japonica 'Kouotome'



- *ツバキ科、常緑広葉樹、樹高3.0m位。
- *ヤブツバキの園芸品種で、赤の中輪で千重咲き。開花期は2~4月。
- *単幹性で樹形が端正に整い、あまり大きくならないので管理しやすい。刈込にもよく耐える。
- *開花期が同じ白花系の品種と混植すると、紅白に咲く風情を楽しむ事ができる。

歓迎

(一社)日本植木協会 平成二十七年 通常総会

今年の抱負

関東・甲信越ブロック長
相澤 裕
(有相澤園芸・栃木県)

日本植木協会会員の皆様、及び関係各位の皆様新年あけましておめでとうございます。
この度は、東京開催にあらためて足労いただき誠にありがとうございます。

2020年の東京オリンピック・パラリンピックの開催にあたり東京は、国立競技場の解体及びオリンピックスタジアムの建設、ま

たヘリテッジゾーンとベイゾーンが交わるウォーターフロントである晴海ふ頭の新選手村、高速道路を中心とした交通網の整備等、公共事業が目白押しであり、緑化事業への予算の配分も多少なりとも増額されると思われま

りがとございます。
環境省は、東京オリンピック・パラリンピックの会期が20年7月24日から8月9日までの猛暑の時期にあ

り、都心部が高温となるヒートアイランド現象がマンションなどの屋外競技に影響を与える事を懸念し、対策としてビルの屋上や壁面の緑化、街路樹の保全などに助成することを表明しています。

慶応大学教授竹中平蔵氏の試算によれば、経済波及効果は約19兆4千億円にのぼると言われています。
東京オリンピック・パラリンピック開催に際してはどうぞ足をお運びください。

昨年、関東・甲信越ブロックでは会員の知識の向上及び啓蒙活動のために宇都宮市の丸沼ホテルに於いて72名出席のもと、研修会を開催しました。

内容は研修会報告に譲りますが、講師お二人の興味深く全く違った講演を聞き終りました事を報告させていただきます。

最後に、長野の御嶽山、熊本の阿蘇山の噴火(富士山も例外ではないかも知れませんが)、台風による河川の氾濫、集中豪雨による土石流の発生など、日本列島を取巻く自然環境は大変厳しいものとなっております。
震災後の東北の復興事業はまだ道半ばであり、円安株高という経済環境の下で長い不況のトンネルを抜け出し、関東・甲信越ブロック会員の協力と支援のもと、日本植木協会の更なる発展に邁進する所存であります。

新年あけましておめでとうございます。本年も会員の皆様にとって良い年になるようご祈念申し上げます。
さて、平成27年度一般社団法人日本植木協会通常総会が東京で開催されます事を、栃木県支部としても心より歓迎申し上げますと共に、本総会が会員の皆様にとって有意義なものになることを祈念申し上げます。
栃木県支部の活動としては、昨年11月7日に関東・甲信越ブロック平成26年度

栃木県支部の現状

栃木県支部長
善林 文雄
(善林園芸)

研修会が宇都宮・ホテル丸沼にて栃木県支部が担当させていただきました。参加人数75名で盛大に開催することが出来ました。内容としては、2名の講師をお招きし、講演を行っていただきました。講演内容は、講師・大出英子氏(NHK趣味の園芸 講師)演題: ロンド

ンオリンピック直前に見た、イギリスの花事情。そしてもう御一方は講師・嶋均三氏(栃木放送パ

ンナリテイ)演題: 方言・愛とユーモア! オレの頭はボンサイだ。という、2人の講師による講演を行っていただき、とても有意義な研修会が出来た事と思えます。支部としての

事業は、年に数回定例会を行い、会員同士の情報交換や各社園在庫表交換・意見交換などを行っています。
また、関東・甲信越ブロック事業等にも積極的に参加させていただきます。

新潟県支部の現状

新潟県支部長
畠山 富夫
(株畠山種苗園)

新年明けましておめでとうございます。
平成27年度、通常総会及び創立45周年記念全国大会

が、関東・甲信越ブロックで開催される事を同じブロックとして、新潟県支部も心よりお祝い申し上げます。

新潟支部会員は現在5名で、独自の事業やイベントなど行っておりません。年に2回集まり近況報告や親協会、ブロックの情報や報告を行い

今までの反省と今後の生産予定などを話し合っています。露

地物・地被類・コンテナ苗木・地域性苗木と多種多様に生産販売を県内外にアピールし、会員各社努力して

植木生産は圃場と人手が不可欠ですが、最近ではいなる所で雑草の生い茂った非耕作地が目立ちます。将来の事を考えると農業で生計を立てて行く事が難しいと

考え、子供達はサラリーマンにして農業は自分の代で終わりと考えている農家が多いようです。結果として圃場は賃貸・売買と数年

前より安く手に入る時代になっていきます。しかし、人手不足は建築・土木系業種が3Kと言われた時代から続いています。自然環境豊

かな仕事と言っても雨・風の日もあります。特に新潟県の冬は暗い雲が低く立ち込め、みぞれや雪の日が続きます。若者はもちろん中高年の方々も雨ガッパを着ての作業は敬遠されます。

造園工事専門会社と違い私も生産者は細かい仕事が多い為、中々機械に頼る事が出来ません。限られた作業だけに機械を使用し、ほとんどは人手に頼っています。

時代の流れで使用資材も縄・コモから麻縄・麻布などに変わってきました。又、事務方に限らず見積り、納品、請求、情報処理などパソコンがなければ仕事が出来ない時代が変わってきています。



新潟県支部会員

新潟支部会員は現在5名で、独自の事業やイベントなど行っておりません。年に2回集まり近況報告や親協会、ブロックの情報や報告を行い

今までの反省と今後の生産予定などを話し合っています。露

地物・地被類・コンテナ苗木・地域性苗木と多種多様に生産販売を県内外にアピールし、会員各社努力して

植木生産は圃場と人手が不可欠ですが、最近ではいなる所で雑草の生い茂った非耕作地が目立ちます。将来の事を考えると農業で生計を立てて行く事が難しいと

考え、子供達はサラリーマンにして農業は自分の代で終わりと考えている農家が多いようです。結果として圃場は賃貸・売買と数年

前より安く手に入る時代になっていきます。しかし、人手不足は建築・土木系業種が3Kと言われた時代から続いています。自然環境豊

かな仕事と言っても雨・風の日もあります。特に新潟県の冬は暗い雲が低く立ち込め、みぞれや雪の日が続きます。若者はもちろん中高年の方々も雨ガッパを着ての作業は敬遠されます。

造園工事専門会社と違い私も生産者は細かい仕事が多い為、中々機械に頼る事が出来ません。限られた作業だけに機械を使用し、ほとんどは人手に頼っています。

時代の流れで使用資材も縄・コモから麻縄・麻布などに変わってきました。又、事務方に限らず見積り、納品、請求、情報処理などパソコンがなければ仕事が出来ない時代が変わってきています。

地球温暖化の影響が新潟でもクロガネモチが赤い実を多くつける



地球温暖化の影響が新潟でもクロガネモチが赤い実を多くつける



アオダモの圃場

コンテナ農場(100万本生産)

コンテナ農場



オリーブ



カンツバキ赤花と白花

(株)瀬戸内園芸センター

緑は地球を救う

愛媛県今治市且甲 248-1 TEL 0898-48-0010(代) FAX 0898-48-8187
http://www.setoen.com/ E-mail: setouchi@setoen.com

- 主な生産物
- クロマツ コニファー類 ヤシ類
 - カシ類 クスノキ タブノキ
 - モチノキ ウバメガシ オリーブ
 - カクレミノ クロガネモチ
 - サンゴジュ シマトネリコ
 - マテバシイ ヤブツバキ ヤマモモ
 - レッドロビン オウゴンマサキ
 - カンツバキ(赤花と白花) サザンカ
 - シャリンバイ ツツジ類 トベラ
 - ハマヒサカキ ヒサカキ ミカン類
 - サクラ類 イロハモミジ ハナモモなど

群馬県支部の現状

群馬県支部長

木暮 伸人

(有)新田ナーセリー

日本植木協会会員の皆様、新年明けましておめでとうございます。

昨年は格別の御厚誼を賜り、厚く御礼を申し上げます。

さて、平成27年度通常総会ならびに記念すべき創立45周年記念全国大会を当三ッロクの東京で開催されますこと、群馬県支部として心より歓迎を致します。

千葉県支部の現状

千葉県支部長

鶴澤 栄

(八街植木)

日本植木協会の皆様新年おめでとうございます。

千葉県の生産地はおもに東部、中部から北部にかけて散在しています。

潮風の影響で落葉樹の生産は少ないですが、温暖な気候でクスノキ、イヌマキ、タブ、クロガネモチを中心



世界文化遺産 富岡製糸場(正門と桜)

県と多くの県に囲まれた場所です。北部は浅間山や谷川岳などの山々が連なり、冬は激しい積雪を伴い、スキー場も数多くあります。

長い不況で生産量は他県同様減少傾向にあります。後継者不足も問題です。



イヌマキの出荷

東京オリンピック博、オイルショック、大阪万博、オイルショック、バブル景気、ガーデンニング、グロームを経て植木業界の形態

の理由で下枝の無いもの、片枝のもの、曲がったもの、細くて背の高いものが好まれます。

もどんとん変化しました。環境問題が世界的規模で騒がれている今、景観だけの緑ではない本当の植物の重要性を知ってもらうことが今後の植木業界の発展に繋がると思っています。

新年明けましておめでとうございます。本年度全国総会が東京において開催されることとなり、担当プロック一員である埼玉県支部より全国の皆様に歓迎の意を表するとともに、紙面を借り若干の埼玉県の現況報告を致したいと思います。

埼玉支部の現況

埼玉県支部長

高橋 一男

(大塚緑化)

景気回復とは言われつつ、またその波を感じることもできない現状ではございますが、最後に今後の日本植木協会の更なる発展と、会員の皆様のご多幸を御祈念いたしまして群馬県支部のご報告とさせていただきます。

活気があるとは言えないのが現状です。しかしながら若者が多く、パワーは大いに蓄えている県だと感じています。

「富岡製糸場と絹産業遺産群」が群馬県で初めて世界文化遺産に登録されたことです。また、同年12月10日には富岡製糸場の3つの建物が国宝に指定されました。

景気回復とは言われつつ、またその波を感じることもできない現状ではございますが、最後に今後の日本植木協会の更なる発展と、会員の皆様のご多幸を御祈念いたしまして群馬県支部のご報告とさせていただきます。

東京でのオリンピック・パラリンピック開催が決まり、2020年にむけて関連施設の準備とインフラ等の整備が必要と見られます。

埼玉県の樹種展示の拠点である「花と緑の振興センター」の新しい展示園開設車いすや子供目線を意識したコンパクトな花木の展示に協力し需要者への情報発信に取り組むことになって

ある「花と緑の振興センター」の新しい展示園開設車いすや子供目線を意識したコンパクトな花木の展示に協力し需要者への情報発信に取り組むことになって

ある「花と緑の振興センター」の新しい展示園開設車いすや子供目線を意識したコンパクトな花木の展示に協力し需要者への情報発信に取り組むことになって



『埼玉の花植木大商談会』出展の様子

カイツカイブキ

小平植木

〒861-8045
熊本市東区小山6-1-10
TEL:096-380-2706
FAX:096-380-2830
E-mail:kohiraueki@lime.ocn.ne.jp

T0ポップスティック

★対応トレー

- T0トレ-24T
- T0トレ-24TS
- T0トレ-20T
- T0トレ-20TS
- T07.5cm深スペースングレ-
- T09.0cm深スペースングレ-
- アルファポットレ-10.5cm用

品名 表示板サイズ 入数
T0ポップスティック大 B6(約12.8cm×18.2cm) 100本入
T0ポップスティック小 41角(4.1cm×4.1cm) 450本入

皆様のお声をお聞かせください...
ご意見はコチラ goiken@tokai-kasei.co.jp

株式会社東海化成
〒501-3714 岐阜県美濃市菅代 66
TEL 0575-33-4112
FAX 0575-35-1998

地球にやさしく、植物にちから強く。豊かなグリーンライフを提案します。

- コーティング肥料
ハイコントロール。マイスター。ニュートリコート。
- 緩効性肥料
ユーバー。ウッドエース。IBワンス。
- 芝・緑化用肥料
カントリーホスカ。グリーンホスカ。グリーンベース。パーディー。肥料。
- 打ち込み肥料
グリーンパール。

発売: **JCAM ジェイカムアグリ株式会社** グリーンビジネス部
〒101-0041 東京都千代田区神田須田町2丁目6番6号 TEL.03-5297-8910 FAX.03-5297-8908

長野県支部の現状

長野県支部長
百瀬 直明
(有)百瀬苗圃

新年あけましておめでと
うございます。
平成27年度通常総会及
び、創立45周年記念大会が
東京都において開催されま
すことを、関東・甲信越ブ
ロック長野支部として心
より歓迎いたします。

東京都では2020年に
東京オリンピックの開催が
決定されており各方面での
植木協会の連携や情報交
換が大切になり、植木協会
の果たす役割は、ますます
大きなものになると思いま
す。
同じブロックに所属する
長野県支部ですが、現在6
社園で活動を行っておりま
す。各社園とも高原地帯と
いう特性を十分生かした植
木・苗木の生産に力を入れ
ながら、この一大イベント
に期待しているところで
す。
さて、長野県の最近の動

東京都支部活動報告

東京都支部長
大野 富久
(有)長寿園

全国の協会社園の皆様、
新しい年を迎えて首都東京
にご参集頂き、通常総会開
催、そして協会設立45周年
記念おめでとうございます。
東京都支部は、現在30社
園です。厳しい社会情勢の
中で生産販売、卸、大卸、
造園まで各社園が植木生産
業の地位向上に向けてかん
ばっております。全国統計
では、東京は少ない生産面
積にもかかわらず全国で3
番目の生産本数を持ち、苗
木から完成木まで樹種も多
岐にわたる高品質な緑化樹
づくりを心掛けています。

出荷されていることは、知
られていない協会員の方も
いると思います。あきらめ
る前にぜひ問い合わせをし
てください。
生産区域は、東は西東
京調布から府中、小金井、
国分寺、立川、西はあきる
野、青梅まで、生産畑の隣近
所は住宅街のなかですが、
皆で、連絡を取りながら一
生懸命取り組んでいます。
これからは東京都内でも
畑の残っている西の地域で
の植木生産が増えていくこ
とと、後継者が課題でしょ
う。支部の活動は隔月で支
部例会を開催し、本部報
告、ブロック報告、そして
検討事項、各会員間の連絡

神奈川県支部の現状

神奈川県支部長
石井 豊
(石井植木)

新年明けましておめでと
うございます。
協会各社園の商売繁盛を
お祈り申し上げます。

神奈川県では、昨年あた
りから植木需要の上向いた
兆しが見えてきました。長
かった低迷期で、生産量が
落ち込んでいますので、既
に品薄の樹種が多く出始め
ているようです。
今後、2020年の東京
オリンピック開催は、こ
の状態が続くと思われま
すので、このチャンスを逃す
事無く、植木協会が丸
となって、良質の植木を供
給して行く事を願います。
さて、神奈川県支部の現
状は、会員数30名ですが、
支部活動に協力的な会員が
多く、魅力のある支部だと
思っています。
植木の生産地である兵
に消費地でもある神奈川の
状況を反映し、個々の社園

第1回理事会

本会理事会は、11月13日
13時から協会・会議室にお
いて理事会を開催した。出
席者は理事13名と監事1名
及び事務局。
議事の経過及び議決の結
果は次の通りである。
○会長挨拶
経費削減に向けて事業内
容の一部見直しと、道路緑
化技術基準改訂について陳

や緑化樹の動向などを話し
合っています。会議後は、
お酒が入って和やかに懇親
会が始まり、先輩に生産技
術をご教授頂いておりま
す。これが、とても参考に
になり、例が貴重なひと時
になっています。最近、
少しずつ世代交代が始まっ
て来ているのも事実です
が、今後も続いていくもの
と思っています。樹木生産
が大好きな皆さんです。
東京は2020年オリ
ンピック・パラリンピック大
会開催をひかえて、全国の
皆様の希望と期待を担って
いることと思います。その
時には協会は50周年になり
ます。現在までの首都東京
という都市を形成してきた
チカラは、地元だけではな
く、日本の各地のみならず
の努力のたまものだと思わ
れますので、今後全国各地
から時代のニーズに合った

優良な緑化木が集荷される
のではないのでしょうか。東
京都では、各関係機関が真
夏の開催に向けて日陰を作
りたい、また移動できるよ
うにコンテナにしたい等の
要望をもっているようで、
様々な試験植栽を試みてい
るようです。楽しみです
ね。
近年日本列島を取り巻く
自然環境が大きく変化して
おり、暑さ寒さが極端にな
っています。そして各地で
様々な自然災害が発生して
います。今後どこで起き
るかわかりません。昨年、仙
台で行われた総会後の視察
で見た東日本大震災の復興
も、いまだ途上でありま
す。日本各地にいる協会員の
英知を結集して協力し、列
島各地で生産流通販路に結
び付けていきたいと思います。

は、何れも個性的な樹種を
取り揃え、唯一無二の経営
を行っております。支部会
員同士も、お互い同業のパ
ートナーとして、良好な関
係を持っています。
年間の支部活動は、1月
の新年会から始まり、5月
懇親会、7月暑気払い、10月
は植木市場状況検討会と東
京支部との親睦ゴルフコン
ペ、12月は総会及び忘年会
を二泊で行っております。
支部活動への参加率は、
概ね毎回6割程度です。
私は、支部活動におい
て、懇親会は最も重要な行
事の1つだと思っていま
す。時間を割き集まり、相
互に腹を割って懇親を深め
る事が、良い友を作り良い
仕事ができる原動力だと思
います。
私自身、昨年度は決まっ
た行事をこなすのが精一杯
でしたが、本年は、昨年よ
り増して懇親、情報交換の
場を増やすべく、活動して
行きたいと思っています。

○新樹種部会香りの本出版
について
・みどり香るまちづくりの
手引書として、東京農大
元教授・近藤三雄氏が、
植物ハンドブックの出版
を計画しており、新樹種
部会が協力するにあたり
事業補助(会議費、交通
費等)支出可否の検討要
請があり、部会からの申
請を待ち今後検討するこ
ととした。
○事業年度の表記統一
・協会が採用している事業
年度方式に統一をした。
平成26年度本部監査を実施
本協会は12月9日(火)10
時30分から協会会議室で平
成26年度監査を実施した。
監査にあたって、会員の
動向、会費納入状況、本年
度事業実施状況及び予算執
行状況、入会保証金助定の
内訳、固定資産及び繰り越
しの流動資産・流動負債の

○26年度事業報告・収支予算
修正資料に基づき検討を
行い、一部内容の再修正を
して了承された。
○27年度理事等日程につ
いて
・第1回役員推薦委員会を
開催し、25日(水)はビジョ
ン検討委員会を15時から
開催する。
・みどり香るまちづくり表
彰式と第3回理事会の曜
日、時間等の修正を行っ
た。
○造園施工示方書執筆
・本会副会長から植栽準備
工関係をまとめたこと
27年5月発行予定の報告
が有った。
○ファスティギアタの名称
使用について
・商標登録されており、今
後使用しないことを再確
認した。
○総会関係の打合せ事項
・懇親会時の開会・閉会の
挨拶は、ブロックに要請
する。
・その他通常総会時の理事
等の役割分担を決めた。

ループ防止不織布シート
くるくるストップシート
~銅化合物の含浸により、根の回転防止効果発揮~

一滴を大海に……
南出株式会社

ハードタイプ 内側スリット硬質容器
プリント印刷も
できます!

底面スリット構造の為、水はけがよく、
排水のばらつきが抑えられるため根の
動きがよく生育ムラが起りにくい!
スリットが内側にあるため肥料など
による汚れが目立ちにくい!

底面スリット

商品名	カラー	サイズ	入数
HP-180	ブラック・モスグリーン	外径180×高さ170(mm)	150個入り
HP-240	ブラック・モスグリーン	外径240×高さ210(mm)	80個入り

TEL.0574-24-7724 E-mail/nippori@kpot.co.jp
http://www.kpot.co.jp

20x67xH25cmの狭い
スペースでもこんなに元気
です(苗植え後5ヶ月経過)

本社 鈴鹿市神戸 7-8-5 〒513-0801 TEL 059-382-0040(代)
URL / <http://www.minamidekk.co.jp> 担当古部 090-4798-3537

各地で開催された総会・研修会

関東・甲信越ブロック

研修会開催報告

中條 博

(株)グリーンアルファ・栃木県

去る11月7日(金)、栃木県宇都宮市、丸治ホテルにおいて行われました関東・甲信越ブロック研修会での記念講演について報告致します。

参加者は、前回より多い72名で、会場は落ち着いた雰囲気の中で開催されました。

今回は、栃木県栃木市出身の園芸研究家で、現在は目白大学非常勤講師やNHK「趣味の園芸」講師として幅広く園芸普及活動中の大出英子氏と、栃木県那須郡生まれで現在、栃木放送パーソナリティとして方言を持ち味にして、特に「栃木弁」の話し方で笑いを誘う嶋均三氏の二方をお招きしました。

まず、大出氏からは「ロンドンオリンピック直前に見た、イギリス花事情」という演題で講演頂きました。サツキ育種家の父と園芸家の母のもとに生まれ、花に囲まれて育った大出氏は、東京農業大学を卒業後、英国王立園芸協会、タキイ種苗(株)、大林組などで、花き園芸だけでなく法面や人工地盤の緑化技術や汚染土壌化技術など幅広く植物活用技術に関わり、目白大学短期大学部では准教授として園芸教育にも尽力されてきました。

特に今回の講演では、2012年ロンドンオリンピックの年、5月のチェルシーフラワーショーに行った時のイギリスの花事情をお聞かせいただきました。

研修会会場



・子供の花育、緑育が盛んに行われて

いて、また、公園ではツツジ、モミジ、シャクナゲなどの花木を上手に組み合わせさせて植栽されているのに感銘を受けた。

・庭・公園を造るうえで、イギリスでは、水の使い方・池や川の流れを非常に上手に使い、水の音や水皿に映る景色などを楽しんでみる。日本でももっと水辺空間を取り入れられないのかと、残念に思った。

・ラムスターガーデンには、100年くらい前に日本から輸入した灯籠や石モミジなどが、その頃からそのまま使われている。ツツジ・モミジ・シャクナゲなどの日本の植物は、海外でも非常に人気があり、それらとオレアの植物、カラーリーフプランツなどを合わせて多用している。植物の使い方などでは、日本での固定観念があるが、イギリスでは、見せたい樹木の特徴を活かせるような、他の木、下草等と植物の使用方法が非常に斬新で新鮮に見えた。

・十数年ぶりに春のイギリスを訪れた結果、とにかく

・子供の花育、緑育が盛んに行われて



大出英子講師



嶋均三講師

悔しくて仕方がなかった。25年前に自分が植えたたくさんの小さなツツジの苗が、見事なまでに大きく育ち春の景色を作っていた。イギリス人は25年前にこの

関西ブロック

通常総会を開催

十一月十九日大阪にて

(一社)日本植木協会関西ブロック平成27年度通常総会が、11月19日(水)14時より、大阪帝国ホテル4階芙蓉の間で開催された。

駒井ブロック長のプロットの団結と会員減少の歯止めに関する挨拶があり、その後協会を代表して阪上副会長が挨拶を兼ねて協会事業報告に繋がる内容である公益目的事業運営について丁寧な説明がなされた。

議長選出について司会より説明があり、慣例に従い駒井ブロック長の議長指名が承認され、駒井議長は議事録署名人を幹事の杉田氏と勝山氏の2名に指名し承認され、議事を開始した。

第一号議案の平成26年度事業報告と収支決算報告が担当幹事より報告あり、併せて平成26年度監査報告が監査人の中島氏より会計監

景色を予想して植えていたのに自分は全く読めていなかったのかと、自分が恥ずかしくなった。しかし、日本の植物、技術、感性があれば、もっと他国に進出できると大出氏は締めくくった。

嶋均三氏からは、「方言・愛とユーモア・オレの頭はボンサイだあ」という演題で講演頂きました。

現在、栃木放送のパーソ

ナリティーで方言作家・とちぎ未来大使ということで栃木を話題にラジオに出演中です。

今回の講演では、いつもの栃木の話とは、がらりと180度変わり、「U字工事」にも負けない栃木弁で話は始まりました。方言を愛し、おもしろおかしく人の心に残したいと、日々勉強中で一日一回笑うことが長生きの秘訣であると、嶋氏は言います。

次へ報告事項に移り、情報検討委員会からはシステム開発の初期目標が達成したため平成26年度で委員会を解散し、システム保守管理は供給可能量委員会が行う報告、広報編集小委員会からは27年用カレンダー作成を以って制作中止の報告と

ホームページ製作会社及び内容の変更報告、緑育出前授業10回(851名参加)開催報告が、事務局より列島植物園委員会の軽井沢千住美術館等視察報告、そして

供給可能量委員会、学術委員会地域性委員会、名木認定報告があった。最後に阪上副会長より会員数498社園、中央研修会(オリピック関連)7月開催予定の報告があり、質疑応答で全ての報告事項が終了し、定刻になり駒井ブロック長の閉会挨拶で無事総会を終了した。

研修会報告

講師 伊藤武氏(主な職歴: 京都府林務課、京都府林業試験場次長を経て関西総合環境センター生物環境研究所副所長、前(一社)日本樹木医学会京都支部会長)

演題 樹木と菌根 その不思議な生態と能力(天の橋立等)

菌根について 菌根とは植物の根と菌類の菌糸の共生(半共生)する組織のことを言う。特にマメ科植物で有名な根粒菌は一般に良く知られている。放線菌(フランキア)は真正細菌でバクテリアと

方言をいかに後世に残すか...という思いで、ラジオ等で栃木弁での放送を行い、方言についての普及に力を入れているそうです。特に、栃木県の方言は、「い」と「え」の発音が逆になってしまい、そのまま会話すると意味の違う言葉になり、非常に面白く、例として、エロ鉛筆(色鉛筆)・人生エロエロ(人生いろいろ)・食塩室(職員室)など。

お二人の興味深く、また全く違った講演をお聞きする機会を頂き、長時間にも拘らず、無事に講演会を終了できましたことに感謝いたします。



伊藤武講師 今回の研修で多くの植物と菌根菌の共生が解り地域性植物が最適な状態で移植後も成長するポイントや地域性植物がいかに大切かが解り、今後の事業に役立つ研修会となった。

研修会終了後に同ホテル内の別の会場に移し伊藤武先生をまじえて懇親会が開催された。

開会の辞を兼ねて駒井ブロック長の挨拶に続いて阪上副会長の挨拶の中でMID都市開発の岡本氏の卓越技能者推薦の報告に祝福の拍手に沸いた後、続いて勝山氏の乾杯の挨拶で盛大に宴が開会された。歓談も盛り上がり時が過ぎるのも早く、定刻になり無事、懇親会を閉会した。

また、水分や養分の少ない岩場で生息している松は菌根菌が水分及び養分供給に大いに関係している。 外生菌根(根の内分まで侵入しない菌根菌)は樹木に多く共生する菌。 樹木の移植に於いて生息地から他の場所へ移植を行うと移植先で植物が弱り枯

～緑化木・種苗生産用資材 総合取扱い～

【取扱い品目】
根巻用麻ロープ・麻布・麻テープ、ポット類
支柱各種、防風網・寒冷紗・ネット類各種、
スリングベルト、モッコ、葉刈袋、その他



谷口産業株式会社

TEL : 072-432-1828 FAX : 072-432-1838 http://www.ts37.co.jp

地球環境に優しく、植物にも優しい
生分解性 biopot



green support

株式会社 グリーンサポート
大阪府貝塚市三ツ松 688-3
TEL 072-447-0112 ・ FAX 072-447-0133
HP: http://www.green-support.com



中部ブロック

研修会報告

ブロック長 加藤 三久
(丸久植物園(有)・三重県)

日程：11月11～12日

場所：愛知県蒲郡市竹島

参加人数：32名

内容：天然記念物である竹島の植物視察、情報交換会、及び懇談会

11月11日

この日は朝から晴れてはいましたが、少し風もあり肌寒く暖かめの服装で出発。

東海4県より32名の会員が研修会参加のため、愛知県蒲郡市竹島のホテル竹島(18時)に集合しました。18時30分より始まった懇談会はブロック長の挨拶を皮

切りに、大崎理事より東京都における造園工事の現状や、2020年のオリンピックに向けて、緑化樹木の生産現状やこれからの対応について課題を頂きました。そのあと沖俊成氏(三重県)より、東北の震災復興に連れて頂き、我々植木屋ができる事などについて意見・宿題を頂きました。

今回の懇談会の趣旨は、ブロック内で生産又は流通されている緑化樹木が円滑に動くことを目的とし、オンラインショップの緑化・東北の復興と続く緑化樹木の供給基地として、中部が一枚岩となるのが大事であることを確認し、生産意欲向上に向け懇談しました。

11月12日

明け方近くまで雨が降っていたようですが、わたしたちを歓迎してくれているかのように天候が回復し竹島へ渡りました。島のガイドにより限なく視察が始まりました。

竹島全島は、暖帯林特有の照葉広葉樹に覆われ、いわゆるタブ型森林を構成しています。高木層にはタブノキの他にもモチノキ・ヒメズリハ・ヤブニッケイなどが多く、さらに島を囲む波打ち際上部の急斜面には、マサキ・トベラ群落が成立しています。樹下にはヤブソテツ・ツワブキなどや、テイカカズラ・サネカ

時に、材料を島内から調達して、加工も一貫して行っており、雇用の面でも地域経済に貢献している。漢谷浩介氏の「里山資本主義 日本経済は「安心の原理」で動く」でも紹介された、地域経済再生の成功例の一つとして注目されている。

夏季研修会報告

中国・四国ブロック長 加藤 一巳
(沓尾公園・鳥取県)

場所：山口県周防大島

テーマ：『周防大島の地域振興を学ぶ』

日程：8月26日(火)～27日(水)



電力会社勤務のオーナーが妻の美家のあった、周防大島で開業したジャム専門店。ロケーションとジャムの美味しさが評判になって、訪れる人が後をたない。通販でもジャムの販売を行っているが決して安くはない。ジャムだが、売りの切れる人気商品。同

訪れたのは平日でしたが、満席でした。現在、敷地内でブルーベリーの栽培も行っているジャムに加工している。実際に、ジャムを使ったメニューも出されていて食べてみましたが、どれも甘さを抑え、素材の味が美味しいジャムでした。島の特産である柑橘類のジャムは

もどより、サツマイモを使った焼きジャムといった新しい、スタイルも人気があるようです。山崎浩一氏(有会社)とどり代表取締役(一社)周防大島観光協会会長、と江良正和氏(一社)周防

大島観光協会事務局長)のお二人に、周防大島の経済、観光等についてお話を伺いました。本土とは橋でつながっている周防大島ですが、産業は漁業、農業観光が柱です。しかし、高齢化、過疎化を受けて地域産業は停滞から、衰弱に移行する中、新たな産業として観光のインバウンドを進められています。

独自の店舗展開を行い、島への観光流入に挑戦されています。新商品の開発、活用した宿泊施設運営など、多方面にわたっての商品開発は参考になりました。

「太刀魚を使った饅頭」は、足の速い太刀魚を島に来て食べてもらう工夫が満載。食も物語をつけて発信する、と、まさに、植木販売と通じるものがあります。は、ユーザー側の

古民家を再利用した旅館も運営されています。山崎社長自ら、作法に添って調理して頂きました。一つの業界に留まっていると、業界の理論が、一般ユーザーのメリットと乖離していくことが多々あります。今回の研修では、ユーザー側の

エバーアートボード

雨や太陽に強く、いつまでも美しく使えます。

選べるカラーパレット 充実の63色

株式会社タカショー

大島観光協会事務局長)のお二人に、周防大島の経済、観光等についてお話を伺いました。本土とは橋でつながっている周防大島ですが、産業は漁業、農業観光が柱です。しかし、高齢化、過疎化を受けて地域産業は停滞から、衰弱に移行する中、新たな産業として観光のインバウンドを進められています。

独自の店舗展開を行い、島への観光流入に挑戦されています。新商品の開発、活用した宿泊施設運営など、多方面にわたっての商品開発は参考になりました。

古民家を再利用した旅館も運営されています。山崎社長自ら、作法に添って調理して頂きました。一つの業界に留まっていると、業界の理論が、一般ユーザーのメリットと乖離していくことが多々あります。今回の研修では、ユーザー側の

独自の店舗展開を行い、島への観光流入に挑戦されています。新商品の開発、活用した宿泊施設運営など、多方面にわたっての商品開発は参考になりました。

古民家を再利用した旅館も運営されています。山崎社長自ら、作法に添って調理して頂きました。一つの業界に留まっていると、業界の理論が、一般ユーザーのメリットと乖離していくことが多々あります。今回の研修では、ユーザー側の

古民家を再利用した旅館も運営されています。山崎社長自ら、作法に添って調理して頂きました。一つの業界に留まっていると、業界の理論が、一般ユーザーのメリットと乖離していくことが多々あります。今回の研修では、ユーザー側の

Takasho

63COLOR

- 1 圧倒的な美しさ
- 2 信頼の耐久性
- 3 現場での施工性
- 4 優れた経済性

http://takasho.co.jp

大島観光協会事務局長)のお二人に、周防大島の経済、観光等についてお話を伺いました。本土とは橋でつながっている周防大島ですが、産業は漁業、農業観光が柱です。しかし、高齢化、過疎化を受けて地域産業は停滞から、衰弱に移行する中、新たな産業として観光のインバウンドを進められています。

独自の店舗展開を行い、島への観光流入に挑戦されています。新商品の開発、活用した宿泊施設運営など、多方面にわたっての商品開発は参考になりました。

古民家を再利用した旅館も運営されています。山崎社長自ら、作法に添って調理して頂きました。一つの業界に留まっていると、業界の理論が、一般ユーザーのメリットと乖離していくことが多々あります。今回の研修では、ユーザー側の

独自の店舗展開を行い、島への観光流入に挑戦されています。新商品の開発、活用した宿泊施設運営など、多方面にわたっての商品開発は参考になりました。

古民家を再利用した旅館も運営されています。山崎社長自ら、作法に添って調理して頂きました。一つの業界に留まっていると、業界の理論が、一般ユーザーのメリットと乖離していくことが多々あります。今回の研修では、ユーザー側の

古民家を再利用した旅館も運営されています。山崎社長自ら、作法に添って調理して頂きました。一つの業界に留まっていると、業界の理論が、一般ユーザーのメリットと乖離していくことが多々あります。今回の研修では、ユーザー側の

SRS 株 阪中緑化資材

使い易く即日発送!!サカナカ緑化資材

根巻三角・四角・ロール自社製造、オーダー対応!!

- ◆定評ある麻なわ、麻かたなわ、根巻ロール、幹巻ロール
- ◇ハイコントロール、ウッドエース、グリーンパイル等各種肥料
- ◆ベルトスリング、ソフトスリング、色々な用途に使用できるシートベルト生地なども好評発売中
- ◇大量使用に安価な「エコノミーポット」
- ◆夏の草取りを軽減するポット用防草マット(各サイズ有)
- ◇活着率バツグンの空中ポットレストレー

TEL 0736-66-2201
FAX 0736-66-2172
HP http://www.sakanaka.co.jp e-mail: srs@sakanaka.co.jp

中国・四国ブロック

通常総会、及び研修会を開催

十一月四日徳島にて



水城会長挨拶

中国・四国ブロックは、11月4日(火)「ホテルクレメント徳島」において、ブロック総会を開催した。総会参加者水城清志会長はじめ加藤一巳ブロック長ほか25名が参加し、加藤一巳ブロック長の挨拶に続いて来賓の水城清

志会長の祝辞を賜り、恒例により加藤一巳ブロック長議長のもと、議事録署名人に(株)濱田樹苗園・濱田秀蔵氏、高橋魁春園・高橋誠氏を指名し、進化した。

「徳島県におけるエコロジー緑化」講師：徳島県自然保護協会会長 森本康滋氏

専門は生物、植物生態学、植物社会学。徳島県立阿南工業高等学校校長、徳島県立富岡西高等学校校長、徳島県情報処理教育センター長など歴任。現在日本生物多様性教育学会徳島支部長、国土交通省徳島環境問題審議委員、エコロジーの森を創る会会長。

講演終了後、懇談会を開催し、和気あいあいの中で活発な情報が飛び交っていた。翌11月5日(水)9時より参加者12名が車に分乗し入田地区の視察を行った。

中国・四国ブロック

通常総会、及び研修会を開催

十一月四日徳島にて



翌日は入田地区を視察

志会長の祝辞を賜り、恒例により加藤一巳ブロック長議長のもと、議事録署名人に(株)濱田樹苗園・濱田秀蔵氏、高橋魁春園・高橋誠氏を指名し、進化した。

「徳島県におけるエコロジー緑化」講師：徳島県自然保護協会会長 森本康滋氏

専門は生物、植物生態学、植物社会学。徳島県立阿南工業高等学校校長、徳島県立富岡西高等学校校長、徳島県情報処理教育センター長など歴任。現在日本生物多様性教育学会徳島支部長、国土交通省徳島環境問題審議委員、エコロジーの森を創る会会長。

講演終了後、懇談会を開催し、和気あいあいの中で活発な情報が飛び交っていた。翌11月5日(水)9時より参加者12名が車に分乗し入田地区の視察を行った。

講演終了後、懇談会を開催し、和気あいあいの中で活発な情報が飛び交っていた。翌11月5日(水)9時より参加者12名が車に分乗し入田地区の視察を行った。

日本列島植木植物園

ナショナルプランツ コレクション*


リギダマツ

Pinus rigida.
(マツ科マツ属)

リギダマツは北米東北部(アパラチア山脈周辺)に自生する常緑針葉樹で、葉が3本束生することからミツバマツの名前もあります。湿润地を好みますが耐乾性もあり、潮風にも耐えます。

日本で見られる葉が3本束生する外国産のマツの中では、葉が短く、幹に曲がりがあり生長が遅いので樹形はクロマツに似ていますが、幹から不定芽が出ることや球果が10年近く落ちずに長く枝に残ることなどから区別は比較的容易です。

リギダマツはマツノザイセンチュウが生息する北米に自生していることから強い耐性があり、松枯れ被害の大きな地域でも利用が可能です。公園緑地や庭園での利用が期待されます。



*ナショナルプランツ コレクションとは世界的に価値のある植物の種・品種等を属のレベルで集め、植物の多様性の維持や希少種・絶滅危惧種の保護に役立てる事を目的としたコレクションです。



九州ブロック(ブロック)郡司専務理事が出席した。長・二村沢行氏、正会員104名は、11月7日15時から福岡県久留米市「ホテルニュープラザ久留米」においてブロック総会を開催し、本部からは水城会長、氏(福岡県)を指名し、議長は議事録署名人(熊本県)西郷純一氏(鹿児島県)を指名した後、定数を出席者54名、委任状出席者25名の合計79名の出席を報告し総会成立を宣言した。議事は議案の1号議案平成25年度事業報告、2号議案平

九州ブロック

通常総会を開催

十一月七日福岡県久留米市にて

成25年度決算報告及び監査報告を一括審議し、研修会費予算に関する質問と、事業報告に参加者数の記載要請をしてそれぞれに回答し承認された。その後第3号議案平成26年度事業計画(案)、第4号議案平成26年度収支予算(案)について説明し、その後理事、委員会委員からの報告の後、道路緑化技術基準の改定について質問があり、これに会長が回答し了承を得たのち、理事会承認を得て協会カレンダーが27年用を以って制作中止の方向であること報告をして終了した。



「一般社団法人ランドスケープコンサルタンツ協会九州支部及び(一社)日本植木協会九州ブロック合同研修会」平成26年10月25日(土)、両協会員から総勢35名の参加を頂き産地視察より始まった。産地である小郡、甘木、田主丸、久留米地区を各生産者の取り組みを紹介しながら、コンサルタンツ協会との意見交換を図りながらの視察。

秋の研修会を開催

新樹種やオリーブの選抜種についても、様々な意見が交わされた。福岡県緑化センターでは、設計から施工までの経緯の中で諸問題や新たな規格外品(物価版未掲載品)の生産状況と可能性を巡りながらの活発な意見交換がなされた。最後に、両協会この様な情報交換を年に3回程度開催し、より当協会とコンサルタンツ協会との意思疎通を図るよう努めることを確認し閉会した。

会員動向

訃報

- 織田 文様 (茨城県)
(有)織田園芸 (織田浩之氏母)
平成26年12月17日没
享年74歳
- 浅見サキ様 (埼玉県)
浅見園芸 (浅見幸彦氏母)
平成26年12月19日没
享年99歳
- 鈴木昭子様 (東京都)
(有)鈴木園 (鈴木 博氏母)
平成27年1月2日没
享年87歳
- 高橋善五様 (東京都)
高橋園芸 (高橋浩久氏父)
平成26年12月31日没
享年78歳
- 郡山照雄様 (鹿児島県)
郡山養樹園 (郡山千晶氏父)
平成27年1月4日没
享年64歳



林野庁の報告後、部会員の質疑応答は左記。

- 1) 林業が儲かる仕組みについて
- 2) 森林・造林事業は国の補助金・助成金が7割以上ある事、しかし、販売に関わることで助成がされていない。
- 3) 残苗の買い上げ問題について
- 4) 現状は全苗を買い上げる制度でなく、入札での購入なので現状は改善されない報告。
- 5) 地域間移動制限の問題について
- 6) 現状の法律が変更される予定はない為、指定地域外移動は法に触れる報告。
- 7) 無花粉スギ・ヒノキ母樹問題について
- 8) 現在はおかしの母樹が出来、配布が可能である報告。
- 9) 資格の問題について

また、平成32年までに無花粉のスギ、ヒノキを、000万本を植林する目標の難しさを理解した。さらに、平成27年度産苗関連補助金予算を増額申請中であること報告があり、林野庁の今後の対策が窺える内容だった。



林野庁・造林間伐対策室長による報告

大信産業(株)は農業全般を販売している会社です。日本植木協会販売を希望している主な商品は殺虫剤の「ダイリーグ粒剤」と除草剤の「スナップショット粒剤」です。



殺虫剤 **ダイリーグ粒剤** (1.5kg入)



除草剤 **スナップショット粒剤** (1.2kg入)

緑化部 広島県尾道市美ノ郷町本郷1-36 TEL(0848)38-1193

TAISHIN SANGYO CO.,LTD.
大信産業株式会社

包装用結束資材と緑化資材を販売している国内トップメーカーです。

自然とともに 優しさとともに

幹巻テープ・根巻布・麻縄・スリング・ポット・しゅろ縄・グリーンカー・支柱



早瀬工業株式会社

TEL 0868-26-1166 FAX 0868-26-3991



平成26年度認定「卓越技能者(名人)」

Table with 7 columns: 番号, 支部, 氏名, 社団名, 年齢, 分類, 評価対象. Lists 11 individuals recognized as 'Superior Skills Masters'.

平成26年度認定「優秀技能者」

Table with 7 columns: 番号, 支部, 氏名, 社団名, 年齢, 分類, 評価対象. Lists 13 individuals recognized as 'Excellent Skills Masters'.

優秀・卓越技能者認定審査小委員会
平成26年度優秀技能者13名と卓越技能者(名人)11名を認定
優秀・卓越技能者認定審査小委員会

名木認定制度は、最高の技術と長い年月によって育成され、芸術的風格を備えた庭園樹木(造形仕立て物及び自然型仕立物)を「名木」と認定し、その価値を称賞するとともに、生産技術の継承、生産意欲の新興を図り、ひいては需要の喚起により業界発展の寄与することを目的としています。

名木の対象樹種は、本会会員の所有する中・高木で、販売の意思があり、運搬可能であるものです。平成26年度は、関西ブロックを対象に募集を行ったところ8本の応募があり、一次書類選考で5本に絞り、9月18~19日の2日間で現地へ赴き2次審査を行い、申請樹木のうち「品位、風格を有し、社会的希少価値が極めて高いもの」として5本が認定されました。

平成26年度 特別庭園樹木(名木)を認定

アカマツ
樹高 6.0m
幹周 1.9m(芝付き)
枝張 4.5m
樹形 直幹 仕立て
推定樹齢 150年
認定番号 142501
(株)中西園材 中西 肇氏
滋賀県守山市

イヌマキ
樹高 6.5m
幹周 1.9m(芝付き)
枝張 8.0m
樹形 仕立て
推定樹齢 300年
認定番号 142502
(株)中西園材 中西 肇氏
滋賀県守山市

北山ダイスキ
樹高 6.0m
幹周 1.5m(芝付き)
枝張 2.5m
樹形 株立ち 仕立て
推定樹齢 200年
認定番号 142603
木村農園 木村 靖氏
京都府右京区

クロマツ
樹高 4.5m
幹周 1.2m(芝付き)
枝張 4.0m
樹形 仕立て
推定樹齢 180年
認定番号 142804
中島農園(株) 中島宏明氏
兵庫県伊丹市

アカマツ(天目松)
樹高 3.5m
幹周 0.7m(芝付き)
枝張 3.2m
樹形 仕立て
推定樹齢 80年
認定番号 142805
中島清昭氏
兵庫県伊丹市

関西ブロック会員の方々、ご協力ありがとうございました。次年度募集地域は中部ブロックです。中部ブロックの皆様、より多くのご応募をお願い申し上げます。

シマトネリコ 30,000 株
タマリユウ 60,000 マット
直営農場で生産中
3.11 震災復興に向けて
シャリンバイ(15vp) 30,000 ポット
タマリユウ・シマトネリコ生産販売
タマリユウジャパン
タマリユウ定期便で
いつでも・どこへでもお届けします。
TEL: 0994-44-6993
FAX: 0994-44-6996
URL: http://www.tamaryu.jp/
E-mail: net-shop@tamaryu.jp